

新人の先生にインタビュー!

1 今年度から初教に仲間入りされた黒木晶子先生 (専門:現代日本語学・日本語教育)へのインタビュー!

インタビュー: 編集委員1年 末光 優香・藤田 成美・藤村 望美



Q 出身はどこですか?

A 生まれは福岡です。でも、小2から広島に住んでいて大学は関西に行きました。

Q どのような大学生活を送られたのですか?

A ESSという英語を話すサークルに入っていました。休日は友達と2人でよく奈良や京都に行き、ひたすら自然の中を歩いていました。一度自転車を借りて走っていたときに田んぼの中に自転車を落としてしまったこともあります(笑)。

Q 初教の印象を教えてください。

A 学生がエネルギーで意欲的な印象を受けました。また、団結力や連帯感を感じました。学年を超えて協力する姿が印象的です。

Q 文教の好きな場所はどこですか?

A テニスコートの裏の駐車場です。私は自然が大好きで、そこには桜の木が植わっていてとても落ち着く場所です。大学の裏に遊歩道があるらしいのでそこにも行ってみたいと思っています。

Q 先生は国語の教師ですが、日本語の面白さを教えてください!!

A 母語話者として普段意識しないで自然に日本語を使っていますが、教える立場に立ってみると「なんとなく」が通用しなく、説明するのが必要になり難しいです。しかし、その日本語の中に隠されている文字の意味を探る事が面白いです。初等教育学科では、来年度から日本語のしくみや文章表現法に関する授業を担当する予定です。



ありがとうございました。笑顔の素敵な黒木先生は、私たち初教1年生のチューターでもあります。これからもよろしくお願いします。

2 今年初教に仲間入りされた大山綾子先生 (初教25期生、長崎出身)に、私たち初教2年がインタビューをしました!

●大山先生)以下大) ●2年生編集委員)以下編)

編) 大学時代、楽しかった思い出は何かありますか?

大) たくさんあるよ~!! 中でも、1年生の時、スポーツDayで、全種目勝利したとと4年生の時の生活科教育法の授業で、教材研究のために班のみんなで三段峡に行ったことは今でもいい思い出です。三段峡へは土日に行ったんだけど、授業は水曜日だったから、取ってきた葉っぱや木の実はしなしなになって結局写真だけしか模擬授業で使えませんでした(笑)。

編) 卒業してから今までの間、小学校の先生をされていたのですか?

大) そうそう。1年目が3年生の担任で、2年目が家庭科や書写などの高学年の専科と2年生の担任をしました。担任をしていた時、他の先生が私のクラスの子もたちに「大山先生ってどんな先生?」って聞いたら、「やさこわい(優しく怖い)」って答えたらしくて(笑)。1年目は全く何も分からず、毎日いろいろなことでも不安でした。しかし、学年主任の先生に生徒指導のことを相談した時に「学級で全く何も起こらないという日はないから。」という言葉をいただき、そういうものか! と思い、

それからどっしりと構えて(腹をくくって?) 指導できるようになった気がしました。

編) 助手の仕事をされていて楽しいことはなんですか?

大) 学生のみなどと話をすることがとっても楽しいです。みなさんが妹のようにかわいいです! これからもよろしくお願いします(笑)

編) では、最後に、学生に一言メッセージをお願いします。

大) 悩みはつきないと思いますが、何でも思い切りすれば最後に笑う日が来ると思います。先生方は何でも応援して下さるので、たくさん学んでそれらを吸収し自身を高めていってくださいね。

編) ありがとうございました。これからよろしくお願いします。



インタビュー: 編集委員2年 庄野 友子・瀬良ちひろ・林 那々子



3 初教のみなさん必見! あの素敵な今崎先生のすべてがわかる★ 今年度から初教の強力な教員チームに仲間入りした今崎浩先生にインタビューしました!

●今崎先生)以下今) ●3年編集委員)以下編)

まずは今崎先生のプロフィールから!

- ★出身: 広島生まれの広島育ち!
- ★歳: 1962年11月5日生まれ 寅年(計算してね^_^)
- ★好きな食べ物: ここ最近、歳のせいかなぁさりしたものが好き
- ★嫌いな食べ物: なし!
- ★好きな芸能人: 天海祐希(宝塚劇場で初めて観て感動した) 小田和正、山下達郎(高校のときから広島でコンサートがある時は、足を運んでいる)
- ★好きなスポーツ: 野球(下手だけどゴルフ)
- ★長所: 仕事に対しては極めて真面目
- ★短所: 仕事以外のことでは優柔不断で八方美人

それではお待ちかねのQ&A!

Q1: なぜ文教に来ようとしたのですか?

今) 文教は、小規模ですが、先生方は教員を育てることに、学生のみなさんも教員になることに真剣に取り組んでおられ、熱を感じたからです。微力ながら自分も役に立ちたいと思いました。教育委員会に務める中で、教育は人であると実感しました。どんなに素晴らしい施設や教材・教具があっても、結局はそれを使う人次第。真綿のように真っ白で吸収力のある学生を育てていくことが、今の教育を良くする近道になると考えました。次に、大学院卒業後、ストップしていた研究を改めて取り組んでみたいと思ったからです。最後に、亡妻が「父さんは授業のことを一生懸命考えている方が似合っている。」と背中を押してくれたことも大きかったです。

Q2: 文教の印象は?

今) 赴任する前に思っていたとおりでした。思っていた以上かもしれません。自分の大学時代と比べ、先生方と学生、学生同士のつながりが強いと思います。学生のみなさんは、大学の中の自分と、大学外の自分を持っていて、自分なりのバランス

をとっているように感じます。女子大の良さだと思います。最近、上の娘から「父さんは、文教LOVEって感じだね。」と言われました。

編) 私たちは「ホッ」と、とても嬉しい気分になりました。そして聞いていて今崎先生は「娘さんLOVEって感じだね」と思いました♥♥♥

Q3: 算数の魅力は?

今) (ちょっと長くなりますが) 算数・数学は人間の生活とはかけ離れた存在、絶対的な存在とされている教員、学生が多いように思えるのですが、実際には、人間が生活(活動)していく中で生まれ、発展してきたものと言えます。数学教育には民族数学という研究の分野もあるくらいで、その土地やそこに住む人々に結びついた数学があります。私は、多くの人が思っているよりも、人間らしい教科というイメージを持っています。人間が生活(活動)する中で生み出した数学的な見方や考え方や、また、それらが生み出された過程に触れた時、もっと学びたいと思います。

編) 率直に…今崎先生熱い!!! 数学に対する愛を感じました。しかし算数・数学は奥が深い、そして私たち人間と深い関わりを持っているのだと感じました。(今崎先生と算数・数学について語りたい人は是非研究室へ!!!)

Q4: 夢・目標はありますか?

今) まず、我が子(大学生二人、高校生一人)を一人前にすること。次に全国の幼稚園・保育所、小・中学校を文教出身の先生でいっぱいにする。それらを実現した後は、お好み焼き店をもちたい。ちなみに店の名前は「お好み焼き屋 さっちゃん」。

編) ……つぶ(真剣に答えて下さっているのが笑いをこらえる。まさかの「さっちゃん」で締めくくられました。でもとても真剣な眼差しでした。文教に対して算数・数学に対して、そして私たち人間に対して真剣に考え、強い思いを持たれている姿勢を知ることができ、今崎先生をさらに尊敬しました。



インタビュー: 編集委員3年 西岡 みゆき・川口 知里・佐々木 唯名・金本 瑞生



ゼミ紹介 児童教育コース 書写書道専修

私達は、書写書道専修です。子どもと書写書道との関わりについて、様々な角度から研究しています。特色ある活動としては、書道の作品発表、地域の子どもや保護者と書道を楽しむワークショップの開催などがあります。

ワークショップでは、子どもたちが書道を身近に感じ楽しめるよう、1m超の紙への大筆書き、絵手紙、ワークシート、共同制作などいろいろなコーナーを設けています。また、合同発表会や大学祭、卒業の作品は、美術棟ギャラリーに展示しています。その他、教育実習前に国語科書写の模擬授業、卒論に向けての調査研究などを行い、書写書道を通して、広く教育について考えています。先輩後輩とで協力する機会が多く、学年を超えた深いつながりを楽しめるのも特徴です。森 哲之先生と一緒に、仲の良い個性豊かなメンバーでお互いを高め合っています。

編集後記

本号では、OTコンビによる名物レポートが復活しました。楽しんでください。マリン、上村先生、大山先生、並びに強力な新1年生(入学者数141名)を加え、パワーアップしたスタッフで大学の情報をお伝えします。もう一度この深いつながりを見つめ直してみてください。(MK)



平成23年度 初教スタッフ (五十音順)

有馬比呂志/今崎 浩/植田ひとみ/上村 加奈 岡 利道/大山 綾子/川西 正行/黒木 晶子 佐伯 育郎/新宅 雅和/杉山 浩之/田頭 穂積 高橋 泰道/徳本 達夫/橋村 勝明/村上 典章 森 哲之/吉田 裕午/善本 桂子

平成23年度 初教かわらばん編集スタッフ

川西 正行/岡 利道/上村 加奈/佐伯 育郎 大山 綾子/岩永真紀子/上垣内美紗/佐々木美輝 西岡みゆき/川口 知里/佐々木唯名/金本 瑞生 瀬良ちひろ/林 那々子/庄野 友子/末光 優香 藤田 成美/藤村 望美

初教かわらばんイラスト担当

谷川 真穂(幼児教育コース2年)

次の要領で原稿をお寄せ下さい。掲載分につきましては、薄謝進呈。

- 分量 800字程度
- 写真 1~2枚
- 送り先 〒731-0295 広島市安佐北区可部東1-2-1 広島文教女子大学 川西正行あて または mkawanishi@h-bunkyo.ac.jp

Letter 卒業生 からの声より

14期生 石塚 のり子(魚沼県)

「かわらばん」楽しく読ませてもらいました。現在、私は、スクールサポーターをしています。1年生から持ちあがりの2年生31人クラスです。元気いっぱいの子どもたちと一緒にです。

18期生 梅本 真代(山口県)

西岐波小学校4年生担任として子どもたちにパワーをもらって日々がんばっています。

20期生 藤田 幸(山口県)

青年海外協力隊で10月から2年間ウガンダへ行ってきます。

25期生 松原 千佳(沖縄県)

あっついです! 1歳児の担任をしています。体力のいる仕事ですが日々感じながらもとても可愛くて毎日癒されています。

20期生 愛甲 裕子(熊本県)

教員3年目はわり、少しづつ学校のこと、子どもたちのことを理解できるようになってきたかを感じています。が…まだまだ大奮闘の日々です。

21期生 阿部 初美(福山市)

福山市の病院で心理療法士として働いています。9月に結婚しました。

22期生 奥原 久美子(広島市)

適応指導教室の指導員として働き、5年目になります。子どもたちの成長を日々感じながら充実した毎日を送っています。「初教かわらばん」が楽しく読ませていただきました。

23期生 坂本 莉枝子(福山市)

教員4年目、特支担3年目、新幹線通勤2年目にあります。来年度はここは転勤になるかドキドキしています。「広島響ウインドオーケストラ」という楽団に入り趣味も楽しんでいます。

24期生 中山 和恵(広島市)

2年間の臨時教諭を体験し、就職課のバックアップのおかげで4月より正規職員として鳥山で頑張っています。就職してからも在学中に興味のあったリミックを続け、日々の保育に生かせるよう学習しているところです。

26期生 土江 典子(岡山県)

現在、全校240名の小学校で、算数の少数担当をさせて頂いています。知り合いがいらないので先生方には本当によくしていただき、子どもたちと楽しく過ごしています。来年度は鳥根で講師をするつもりです。

